

令和6年8月20日

卓球部顧問・指導者の皆様へ

東京都高等学校体育連盟卓球男子専門部委員長

東京都立野津田高等学校 平 雅行

全国高体連評議員会の報告

皆様には、東京都高等学校体育連盟卓球男子専門部の事業にご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。また、卓球部の活動に対して日々の指導に当たっていただいている顧問・指導者の皆様に改めて感謝とお礼を申し上げます。

さて、8月3日に長崎県大村市で令和6年度（公財）全国高等学校体育連盟卓球専門部評議員会が行われました。そこで理事長から、日本卓球協会ルールのグッドプレゼンテーションについての説明がありました。これは昨年からルールに加わっているもので、各都道府県の加盟校の顧問の先生へ周知いただきたいとのことですのでご確認ください。

グッドプレゼンテーションについて

2023年6月1日改定の日本卓球ルールに、2.5.3 グッドプレゼンテーションという項目が加わりました。監督、アドバイザーにおいては、これに抵触する行為は厳に慎むことと、選手にも周知をお願いしたい。

2.5.3.1 競技者、コーチまたはアドバイザー、競技役員は、スポーツをよりよく見せるという目標を支持し、スポーツ倫理に反するような、競技の要素に影響を及ぼすいかなる試みも自制することでスポーツのインテグリティ（高潔性・健全性）を保障しなければならない。

2.5.3.1.1 競技者は最大限試合に勝つ努力をしなければならず、大会中は病気や負傷等の正当な理由なしに棄権することは慎まなければならない。

2.5.3.1.2 競技者、コーチまたはアドバイザー、競技役員は、自身の試合や大会に関連した賭け事や八百長に関与したり手を貸したりするなど、基本規程第2章倫理で定められている禁止行為をしてはならない。

2.5.3.2 第2.5.3条の条項に対して重大な、あるいは度重なる、継続的な違反があれば、基本規程第11章処分の定めに従って処分することができる。

以上

事務連絡
令和6年8月13日

全国高等学校体育連盟専門部 部長 殿

(公財) 全国高等学校体育連盟
専務理事 奈良 隆

高体連が主催する競技大会のより適正な運営
及び「競技者及び指導者規程」の徹底について (依頼)

平素より本連盟の諸事業にご理解ご協力をいただきありがとうございます。また、令和6年度北部九州総体も残すところ一週間となりました。本大会の実施に向けた皆様方のご尽力に対し心よりお礼申し上げます。

さて、全国高体連及び都道府県高体連が主催する競技大会の運営につきましては、従前より各中央競技団体及び各競技専門部が定める競技規則等に基づき適正に運営いただいているところです。しかしながら、今年度北部九州総体の出場選手選考を兼ねた都道府県高等学校総合体育大会において、大会運営側による競技規則等の運用について一部適正さを欠いた対応がありました。また、同大会において監督による自校選手に対する不適切な言動により、当該選手が自らの試合結果に影響を及ぼす試合行動があり、これらを原因としたトラブルが発生しました。

競技専門部の皆様におかれましては、今後実施する競技大会の運営にあたり、参加する全ての選手が持てる力を存分に発揮し、正々堂々、公明正大な試合態度で競技に臨むことができるよう、競技規則等の周知・徹底並びに、本連盟が定める「競技者及び指導者規程」の内容について再確認の上、競技特性に応じた環境整備等について改めてお願いいたします。

なお、参考として本連盟が定める「(公財) 全国高等学校体育連盟競技者及び指導者規程」の一部を以下に掲載しますのでご確認ください。

【参考】

第3条 (競技者のあり方)

- (1) 高等学校の生徒として、体育・スポーツ活動を通して自己研鑽に努める。
- (2) 競技規則はもとより社会生活におけるルールとマナーを守り、フェアプレイの精神に徹する。(以下省略)

第6条 (指導者のあり方)

- (1) 指導者は、高等学校における体育・スポーツ活動の発展と心身ともに健全な競技者育成のため、競技者の模範となるよう努める。
- (2) 高等学校における体育・スポーツ活動は、学校教育の一環として行われることを踏まえて指導にあたる。
- (3) 競技規則を守り、人権の尊重に十分配慮して指導にあたる。(以下省略)